

緑が丘

令和8年4月8日発行 三木市立緑が丘小学校



2026.4.8 緑が丘小学校始動。～新風によって～

桜の季節が早く、花びらが舞い散る中、新学期がスタート。いきかう「おはようございます。」の声。さあ新学期という不安と緊張、意気込みが伝わってきます。

さて、昨年度までの2年間、「自分できめる」「みんなと決める」を合言葉に、大人も子どもも当事者意識をもって、お互いの意見を聴きあい、みんなと決めていくことを大切に教育活動を進めてまいりました。今年度は、それを少し前進させ、

「ぼく・わたしが主役」

～「自分できめる」「みんなとつくる 究める」～

を合言葉に、ひとりひとりが主体となること、みんなでより良いものを求めていくことを意識し合った学校づくりを進めます。「つくる」には「作る」「造る」「創る」などいろんな漢字があてられ、それぞれに意味があります。「究める」は、道や学問の奥深いところまで到達するという意味です。

日ごろ、子どもたちが使う言葉でいうと「深掘り」でしょうか。学習も生活も「ぼく・わたし」が主役です。

2月下旬の、最高学年となる5年生による学校づくり案の校長室でのプレゼンは、そのスタートでした。その後も、委員会やクラブ案、運動会のテーマ案やオリジナル体操づくりと最高学年の子どもたちは、既に動き始めています。(写真はプレゼンの様子です。)



3月末に、9名の教職員、62名の6年生と別れ、4月、14名の教職員、新1年生51名と出会いました。新しい風による、+(たし)算でなく✖(かけ)算効果を期待しているところです。2027緑小は299名の子どもたち+教職員+保護者、地域の皆さま、関係機関の皆さままでスタートします。「組織は人が創り、人が組織を磨く」という言葉があります。学校も「人」で創られています。組織を学校におきかえると「学校は人が創り、人が学校を磨く」となります。ひとりひとりの「どきん」(掲載詩)と学校にかかわる全ての「人」の磨き合いで生じるものを大切に、今年度も皆様とともに「Open Share Team(オープンシェアチーム)として前に進んでいけるよう努めてまいります。

(校長 佐野 順子)

どきん

谷川俊太郎

さわってみようかなあ	つるつる
おしてみようかなあ	ゆらゆら
もすこしおそうかなあ	ぐらぐら
もいちどおそうかな	がらがら
たおれちゃったよなあ	えへへ
いんりよく かんじるねえ	みしみし
ちきゅうは まわってるう	ぐいぐい
かぜもふいてるよお	そよそよ
あるきはじめるかあ	ひたひた

だれかがふりむいた！ どきん

